

研究コア「機能性物質の安定供給を指向した低環境負荷型有機反応の開発」

日時 2020年1月28日(火) 13:15～14:45(3限)

会場 近畿大学東大阪キャンパス 38号館 2階 多目的利用室

講師 野上 敏材 教授 (鳥取大学学術研究院工学系部門)

液相電解自動合成:オリゴ糖化学合成のための新手法

鳥取大学学術研究院工学系部門 野上 敏材 教授

オリゴ糖はそれ自身が生物活性物質として機能したり、タンパク質や脂質と複合化して機能を発現するなど、重要な生体分子として注目されている一方、その化学合成は発展途上にあります。近年、グリーンケミストリーの観点から環境への負担の少ない有機合成プロセスとして有機電解合成が注目されています。野上教授らは「液相電解自動合成法」と呼ぶ手法を開発し、オリゴ糖化学合成の効率化や迅速化を実現しようとしています。本講演では最新の研究成果を中心に御講演して頂く予定ですので、奮ってご参加ください。



有機合成化学
糖質化学

本学術講演会では、研究コア③-11「機能性物質の安定供給を指向した低環境負荷型有機反応の開発」(メンバー 代表・理工学部 松本(浩)、川下、薬学部 前川、中村(光))が共催となっています。

連絡先: 理工学部理学科 大久保(内線4117)・松本(内線4126)